



自民党の改憲草案で憲法はどう変わる？

- 前文** 『政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し』
改憲草案 【先の大戦による荒廃や幾多の大災害を乗り越えて発展し、】
9条 『陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない』
改憲草案 【内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する】
12条 国民は、常に**公共の福祉**のために自由及び権利を利用する責任を負う。
改憲草案 国民の自由及び権利には**責任及び義務**が伴う。**公益及び公の秩序**に反してはならない。
18条 何人も、**いかなる奴隷的拘束**も受けない。
改憲草案 何人も、**社会的又は経済的関係において身体を拘束**されない。
20条 いかなる宗教団体も、国から**特権を受け**、又は**政治上の権力を行使してはならない**。
改憲草案 国は、いかなる宗教団体に対しても、**特権を与えてはならない**。

一弁護士グループがまとめた Youtube による画像を視聴しながら解説を聴き自民党の狙う改憲の中身を学びます。一

◎7月31日(日)午後1時半～ さんかくプラザ(郡山市男女参画センター)2階集会室
 主催 虹とみどりの会 郡山市議会6月定例会の報告もあります。

暴かれる自民党と統一教会の癒着
 高まる**安倍国葬閣議決定反対**の声

霊感商法で数千億の金を巻き上げていた統一教会と自民党が長年ズブズブの関係であったことが次々と明らかにされる中、七月二二日、安倍国葬の「閣議決定」に抗議する集会在官邸前で開かれた。

足利市から参加した人たちのプラカードには「自民党と統一教会でやれ」の手書きの文字があった。マイクを向けると「犯罪者を国葬にするなどんでもない！」「ずっとこういう活動には参加していなかったが、これは絶対におかしいと思ってやってきた」。「ずっと安倍は政治を私物化してきたが、死んでも私物化するつもりか。やめてほしい」と。ファミリーの怒りは深かった。他の参加者も、「何もしないと認めたことになる。意志表示をしたかった」「絶対反対の気持ちでいたが、表現できなくてモヤモヤしていた。この行動を知って駆け付けた」などの声があった。

主催者の予想をこえる人々の参加は、「いま主権者として声を上げなければ、憲法も民主主義もなくなる」という危機感の現れだった。ヘイバーネットより

====株主代表訴訟での13兆円賠償判決を受けて====
「東電刑事裁判 弁論再開と最高裁判決等の証拠調べを求める！ 報告会」
 ◆7月30日(土)午後1時半～ 郡山教組会館

◎第24回ミナセンなかどおり相談会

・8月8日(月)午後2時半～ 郡山医療生協多目的ホール
 「統一教会と自民党政治を明らかにするとりくみ、戦争展など」